

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	令和3年度第2回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事 務 局 (担 当 課)	小金井市ごみ対策課		
開 催 日 時	令和3年12月27日(月)		
開 催 場 所	小金井市 中間処理場		
出 席 者	委 員	<出席者：12名> 渡辺会長・大江委員・岡山委員・石田委員・土屋委員・勝又委員 岸野委員・黒須委員・齋藤委員・多田委員・石原委員・林委員 <欠席者：3名> 山田委員・波多野委員・堀越委員	
	事 務 局	深澤ごみ対策課長・府川減量推進係長・高田清掃係長・高橋施設係長・高花	
傍聴者の可否	可	傍 聴 者 数	1
会 議 次 第	1 開 会 会議録の確認について 2 報 告 3 議 題 令和4年度一般廃棄物処理計画について(審議) 4 その他		
会 議 結 果	別紙審議経過のとおり		
提 出 資 料	別添のとおり		
そ の 他			

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	これより令和3年度第2回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。 では、配布資料について事務局に説明を求める。
府川減量推進係長	(配布資料確認)
事務局	(「会議録の確認」について説明)
渡辺会長	前回、令和3年度第1回審議会の会議録について、意見・修正があれば申し出ていただきたい。 特になければ、事務局にて公開手続きに入る。 次に、報告について事務局から説明を求める。
高橋施設係長	(「報告事項」について説明)
深澤ごみ対策課長	(「報告事項」について説明)
府川減量推進係長	(「意見提案シート」について説明)
渡辺会長	事務局からの説明に対して意見・質問はあるか。
多田委員	くるカメファクトリーや新庁舎に設けられるスペース、ジモティーの活用などで13,000人程度の利用は見込めるのか。それらを中心として、合計80~90トンぐらい販売できればよいが、取扱量や人数が大きく減ってしまったら意味がない。もう少し何か施策はないか。 意見・提案シートにも記載されているが、不用品交換コーナーの所管をごみ対策課にするということできないのか。
深澤ごみ対策課長	不用品交換コーナーについては、ジモティーを導入して以降、経済課と協議を続けている。
府川減量推進係長	今のところ取扱量の数値目標はない。リサイクル事業所での実績13,000人というのは、売り買いの合計ではないかと考えている。二枚橋の施設で現在予定しているのは、販売だけでなく、くるカメファクトリーという部屋を配置して、端材

(審議過程) 主な発言等

林委員	を活用した教室や環境学習も行うものであり、質が違うと考えている。
府川減量推進係長	常設展示やネット販売といったリユース事業の実施主体はどこになるのか。
府川減量推進係長	実施主体は市となる。つまり、市の一部業務を委託するということであり、品物についてリユースをする、しないの判断や、料金といったことを決定するのは市だと考えている。 もちろん、料金を一覧のような形にするなど、判断しやすい環境にはしていく。
林委員	そこも含めて、民間やシルバー人材センターに委託するということは考えていないのか。
深澤ごみ対策課長	委託事業者に特定の団体を勧めることはできないが、高齢者や障がい者の活用についてはお願いしていく。
林委員	ここまでは市が行い、ここから先は委託先にやってもらうということがよいのかどうか。経験のある方にある程度パッケージ化して委託してもよいという気がした。
深澤ごみ対策課長	それに関しては、かなり議論になった。ただ、今回は業務委託として実施することから、一定の区切りでは市の判断が必要となる。
林委員	リユースですごく大きな物量を目指しているわけではないと思うが、粗大ごみの中から使えるか否かという判断はだれがするのか。小平市では、シルバー人材センターに作業もできる目利きの方がいて、判断をしていると伺った。かなりきめ細かい判断が必要となるようなので、かなりの仕事量になるのではないか。
府川減量推進係長	そういったことを含め、細々したところを検討している。

(審議過程) 主な発言等

林委員	うまく運営できないと、結局ほとんど燃やしていましたが、ということになりかねない。
渡辺会長	展示抽選販売方式の場合は、粗大ごみとして回収したものをくるカメファクトリーで修理等を行って展示することになる、ということでしょうか。
府川減量推進係長	くるカメファクトリーについては、環境学習用に使用する部屋になっており、市民を募って、そこで講師を招いて教室を開いたりするところである。リユース事業として家具を補修したりするところは、1階の補修部屋になる。
渡辺会長	そちらの修理工房の名前は決まっていないということか。
深澤ごみ対策課長	1階の解体手作業室で、市民はあまり立ち入らないところのため、特に名前はない。
渡辺会長	片方に「くるカメファクトリー」という名前をつけているのであれば、作業所にも名前をつけて、「ここで修理、補修、展示販売しているんですよ」ということがアピールできるようにすることが、PR上も有効だと思う。
林委員	イベント的に子どもを集めて教室を開くというようなことができ、リサイクルのアピールをするスペースに「くるカメファクトリー」という名前を付けたのだと思うが。
渡辺会長	例えば岡山委員が名古屋で展開している生ごみリサイクル事業に「おかえりやさいプロジェクト」という名前がついているように、家具その他の補修、修理、展示抽選販売に関しても、何らかの名前を付けて、市民に広報できるようにしたほうが、絶対PRの力がある。市のほうは、実質的に量を増やすかどうかということは、そんなに問題視していないのかもしれないが、積極的に実施していきたいということなので、考えてもよいのではないかと。

(審議過程) 主な発言等

岡山委員	実際に補修をするのはどこか。
深澤ごみ対策課長	施設全体を運営する業者になる。
石原委員	民間に委託するという事は、シルバー人材センターは入っていないということか。
岡山委員	<p>業者がシルバー人材センターの会員を雇うということはあると思うが、中間マージンが発生してしまうので、直接雇ってもよいのではないか。</p> <p>名古屋市でも同様のことをしており、常設で直している。</p> <p>時々売り出し日を作ってオークションで販売しているが、シルバー人材センターの的人件費と同程度になればよい、という考え方で運営をしていた。</p> <p>今回の場合、委託に出すということだが、委託額と同程度にしなければ市が差額を負担することになるし、それを避けようとする商品が高値になってしまい、売れないということになり得てしまう。そこに若干の不安がある。</p> <p>それから、子ども向けワークショップを実施したときに分解体験を行ったが、ああいったことは環境教育効果が非常に大きい。同じように、修理・保全をしている作業を見せるというのもとても重要であるから、作業所が常設であるならば、それを積極的に見せるようにしたほうがよい。むしろ、そちらをメインにして、展示室として人気になりそうな愛称をつければよいと思う。</p>
石田委員	私も同意見である。この20年くらい、修理して使うという概念が無くなっているように思う。修理すれば直せる、といったことを意識づけるには、まずはやっているところを見せて、自分でもできるという気持ちに持っていくのが効果的である。そのためには、愛称があったほうがよい。
林委員	目的を再度改めて確認したほうがよいと思う。教育的に利用しようということと、粗大ごみで出たもの、例えば家具を修理して販売しようということを、はっきりさせた方がよい。教育的な見地で作業を見せようとするれば、例えばペンキの臭いのよ

(審議過程) 主な発言等

岡山委員	<p>うな、不適當なものも出てきてしまうのではないか。</p> <p>教育的なところをメインにしようというのではない。実際にリユースをして、ごみを減らそうということが、この事業の目的である。ただ、石田委員が言われたように、修理してまで使おうという人がいないことも事実だから、子どもたちだけではなく、すべての人に、「こんなに生まれ変わるんだ」ということを見せるのは、とても重要である。そうやって一所懸命作られたものは存外魅力的に見えるので、結局、それが販促にもつながると思う。</p>
渡辺会長	<p>おもちゃ病院では、その場で直せるものはその場で直して、複雑なことを要する場合は、別のところで直す。家具についても、簡単に見せられるところは見せて、見せにくいところは奥でやっていただければよく、すべてを見せろというわけではない。いま学ぶことで重要なのは、リサイクルではなくリユースだと思うので、くるカメファクトリーの目的のメインは、「リユースを学ぶ」ということにしていきたい。</p>
深澤ごみ対策課長	<p>リペアというのも、とても重要なことであるということは理解している。そういったことも学べるようなものができればと考えている。</p>
渡辺会長	<p>もう一点、ネットの利用といったことばかり強調すると、不安に思う方は多いと思う。若い頃は使えていても、年を取ると目が見えにくくなったり、いろいろと億劫になって、ネットを活用するということが不安が大きくなるというところがあるので、そういった不安はできるだけ解消するような形で説明をしていただきたい。</p>
深澤ごみ対策課長	<p>情報通信技術だけを使って進めていくつもりはない。いろいろな工夫というのはあると思っており、こちらもそれに見合った工夫を今後も考えていきたいと思っている。</p>
渡辺会長	<p>二枚橋の施設はもとより、廃棄物関連事業についても、市民の声をできるだけ活かしていくのが一番望ましいやり方だと</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>思うので、よろしくご対応いただきたい。他に意見・質問はあるか。</p>
府川減量推進係長	<p>では、令和4年度一般廃棄物処理計画について、事務局に説明を求める。</p> <p>(「令和4年度一般廃棄物処理計画」について説明)</p>
渡辺会長	<p>事務局からの説明に対して意見・質問はあるか。</p>
林委員	<p>P3の変更点で、「※」の2つ目を見ると「増加したと考えられます」、「※」の3つ目を見ると「増加したものです」と記載されている。この「※」は令和2年度の数値の説明だと思うので、「※1」や「※2」と記載して明示した方がわかりやすいように思う。</p> <p>それから、議事録のP11にもあるように、前回私は「ごみ相談員制度について昨年より項目がなくなっている」と発言した。生ごみの減量とか、そういったところに注目した計画にしてほしいとして、ごみ相談員制度のことを、今回の計画に再度盛り込んでほしいと思っていたが、記載されていない。</p> <p>また、項目6の「地域における3Rの推進」でいうと、地域での市民の生ごみ減量活動という意味で、土曜生ごみ投入にも触れてほしい。現場からは、市が評価してくれていないのではないか、という声があがっている。市の事業に挙げてくれとは言わないにしても、もっと市と一緒にやってほしいと、いろいろな場で言われている。</p> <p>もう一点、P23「新施設稼働後」の表中に「プラスチックごみの中間処理の処理場所」という箇所があり、「民間処理施設」と記載されている。容器包装リサイクル対象外の廃プラスチックは浅川で処理しているので、真ん中に線を入れて、下は浅川が入るのではないかと、前回の審議会で発言しているが変わっていない。ここは、直していないのか、それとも何らかの意図があるのかを確認したい。</p>
府川減量推進係長	<p>ご指摘のP23について、ここでいう中間処理というのは、積替・選別の作業として記載している。</p>

(審議過程) 主な発言等

林委員	容器包装リサイクル対象と対象外を含めた全てが一旦システムに運ばれると考えてよいということか。
府川減量推進係長	その後の処理で、容器包装リサイクル協会でリサイクルされる容リプラと、焼却後エコセメント化されるその他プラスチックに分かれるため、そのような整理をさせていただいている。
石原委員	来年度から施行されるプラスチック新法について新年度にあたって何か盛り込んでおいたほうがいいのではないかと思うがいかがか。
岡山委員	前回、私も同じことを申し上げた。法令は4月に施行されるものの、実際に適用されるのは、もっと先のことになる。おそらく市も考えているとは思いますが、本当は私もいつ頃から適用していくということが予告できればいいと思っている。
渡辺会長	この計画は令和4年度のものであり、時点的にはプラスチック新法は施行されているから、それを踏まえて「はじめに」にプラスチック新法についてのことが記載されていてもよい。
府川減量推進係長	<p>プラスチック新法の成立によって、市町村で何が変わってくるかという、「プラスチックごみの一括回収」ということになる。法では努力義務としてされているが、小金井市ではすでに一括回収を実施している。</p> <p>ただ、回収後の処理として、令和5年度から全ての廃プラスチックが容器包装リサイクル協会へ引き渡されることが予定されていると聞いてはいるものの、その際に協会側へ支払う委託料がどの程度になるのか、引き渡す際は、製品プラスチックを分けてベールにする必要があるのか、といった細々としたことが示されていない。</p> <p>したがって、現時点では、市として法の動向を注視していく、ということしか申し上げられないと考えている。</p> <p>一方で、プラスチック新法という新しい法律ができる以上は、製品プラスチックはどうしていくかというところは、改めて一度考えていかなければならないと思っている。</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山委員	<p>廃プラスチックの行き先だが、現在は一括回収されて結果的にはリステムに行っている。</p> <p>せっかくプラスチックとして集めてきたものを、わざわざリステムに持ち込んで2つに分けて、片方は、最終的に可燃として処理されているわけであり、それが一緒になるという可能性が出てきている。小金井市にとっては、合理化されるのだと思うが、容器包装リサイクル協会は委託金でリサイクルしているので、今後は国が仕分けしていくのだと思う。</p>
石原委員	<p>プラスチックを取り扱う法が新しくなるのだから、処理計画の具体的な内容は無理としても、方針としてどうしていくかは「はじめに」に入れておいたほうが適切である。</p>
岡山委員	<p>あとは、令和4年4月から、いままで無料配布されていたスプーン、フォーク、プラスチック製ストローが有料化になる可能性があるのも、そういった使い捨て製品はできるだけ使わないようにしましょう、というようなことは、発生抑制の文脈では言えるのかと思う。</p>
林委員	<p>令和3年度の実績の具体的な取組のところ、できれば実績としての数値があるものは、可能であれば記載したらよいのではないかと。そうすれば、次年度、次々年度具体的な計画の中で、数値目標とは言わないまでも、どこに力を入れてもつとやる、ということを議論するときのベースになると思う。</p> <p>それから、P15の「資源循環システムの構築」の生ごみ処理機について「補助制度見直しの検討」というのがまだ残っている。前回見直しの提案があったということは、この記載はなくなるのか。</p>
府川減量推進係長	<p>今回の見直しは、家庭用の生ごみ処理機が対象となっており、他にも事業用と大型の生ごみ処理機があるため、このままとなる。</p>
岡山委員	<p>各小学校に設置されている大型生ごみ処理機のレンタルが更新になるが、企業によっては全部回収して近郊で堆肥化するところもある。そういったところに置き換えていくなど合理化</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>を図りつつ、リサイクルを進めていくようにシステム変更を検討されたらいかがか。</p> <p>それから、生ごみ投入を促進するために、インセンティブをつけるとよいのではないかと思う。</p> <p>くるカメ給食の実現にも挑戦していただきたい。資源循環をいかに加速していくかということで考えるなら、今、実際に小金井市の給食で使われている野菜は、部分的に小金井市産のものが結構あるようだから、そこで食品リサイクル堆肥を使った野菜を使ってもらえばよいだけなので、そんなに難しい話ではないと思う。</p>
渡辺会長	<p>市民が出した生ごみが市内の農地で野菜になり、それが市内の学校で使われるという循環を可視化するということである。</p>
土屋委員	<p>うちでは食品リサイクル堆肥を使用しているが、市内のどれくらいの農家を使用しているのか不明である。使用していない農家でも、給食に野菜を納めているところは結構あると思う。野菜を作っている量によって変わってくるし、給食に必要な野菜はだいたい決まっているものの、それがどのくらい、どの農家でということは決まっていないので、循環できているかどうかはわからない。</p>
岡山委員	<p>例えば、年1回、その日だけ、食品リサイクル堆肥から作った野菜を調達して提供するということは、物理的には可能か。</p>
土屋委員	<p>給食は何百人という量を作るので、野菜の納入量も多いし、それだけではおそらく賅えないのではないか。</p>
岡山委員	<p>1種類、その日の1品目だけでよい。</p> <p>年に1回のくるカメ給食の日。それでいいと思う。くるカメ野菜です、とすれば、生ごみを持っていこうと思う人も出てくるのではないか。</p>
渡辺会長	<p>P10のところで、「令和3年度上半期の実績量を基に決定しています」と書いてあるが、参考として出ているのは令和2年度の実績なので、どちらかというと令和3年度上半期のデー</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>タを載せた方が、直接参考にしている値であるということ適切なのかと思う。</p> <p>それから、P 13「水分を多く含む生ごみは、処理の際にも大きなエネルギーを必要とする」とあるが、現状では生ごみが少々増えても、ごみの中の紙ごみとプラスチックの熱量で燃えるので、あえてエネルギーを加えているわけではない。こういう書き方をすると、生ごみに燃料をかけて燃やしているのではないかという誤解を招きそうなので、避けたほうがよい。</p> <p>また、「処理に際し多くの二酸化炭素を発生させ」というのも、人によっては生ごみというのは動植物性のものだから、元が空気中の二酸化炭素であって、カーボンニュートラルなんだと言われかねないところがあるのではないかと思う。この辺の表現はもう少し誤解のないものにしたほうがよい。</p>
岡山委員	<p>代案として、「水分を多く含む生ごみは、処理の際に大きなエネルギーを必要とすることから」というところについては、「生ごみはその組成が水分80%なので、生ごみを焼却するという事は、燃えない水を燃やしているようなものです」とする。</p> <p>それから、「食品を作ること自体、食品生産、食料生産に莫大なエネルギーが実はかかっています。ですので、非常に多くのエネルギーを必要として作られた食品を食べずに捨てるということは、環境に非常に大きな負荷を与えます」という言い方のほうがよいと思う。</p>
林委員	<p>この文章は、結局何が言いたいのか。次のページの始めでは「組成分析や生ごみ処理機のアンケートを実施して現状を把握し」として生ごみ組成の現状になっている。「施策や啓発についての検討を進めることが重要です」では、何の施策や啓発のことなのか。</p>
岡山委員	<p>環境に非常に大きな負荷を与えます。食品ロスを減らして水切りを徹底することは、環境にとってもいいですよ、ということで一旦とじる。食品ロスを減らすこと、生ごみを減らすこと自体は、非常に重要ですよということが言いたいわけである。</p> <p>重要ですよといったところで、実際に減らしていくためには、組成分析調査といった現状把握が必要で、それに基づいて施策</p>

(審議過程) 主な発言等

石田委員	<p>の検討をきちんと進めることが地域にとって重要です、ということである。この2つは分けたほうがよいと思う。</p> <p>文章が繋がっているから、明らかに水を含むことがエネルギーロスになっているとか読まれないと思うので、段を分ければ意味が違うということがわかる。</p>
林委員	<p>今までも水切り袋を配ったり、水切りの徹底を訴えているわけだから、難しくいわずに「水分が多く含まれているので水切りを徹底してください」と言えばいいだけの話である。</p>
石田委員	<p>いま言われたことを一つ付け加えて改行すれば、おそらくすっきりわかる。</p>
林委員	<p>やたらに文章をたくさん増やしても仕方がない。</p>
渡辺会長	<p>燃やすうえにおいて、生ごみというのは燃やすことに向いていないのは間違いない。おそらく発電量や余熱利用に関しては生ごみが入らないほうがよいと思う。そういった話であって、別に新たなエネルギーを加えるわけではないので、そのへんの語弊や、二酸化炭素に関しても処理だけの問題ではない。少し勇み足な感じがする。</p>
岸野委員	<p>P 1 6 「「ごみゼロ化推進員の活動の支援と推進」で、ごみゼロ化推進員の増員に向けた広報の強化とあるが、ただ広報していても、現実には難しい。</p> <p>先日、まち美化部会で新小金井駅と東小金井駅のごみの収集に行ったが、場所を間違えたと言ってごみ対策課の職員が遅れてきた。ビブスについても、ごみ対策課の職員は着用しないし、毎回メンバーが違う。ここに支援と謳う以上、もう少し頑張っていたきたい。</p>
渡辺会長	<p>処理計画について、他に意見・質問はあるか。</p>
齋藤委員	<p>先日3市市民会議に出席したが、浅川清流環境組合に小学4年生が見学に来ていた。残念ながら、実際に見学に行けて</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>いるのは国分寺市だけだという現状を伺ったので、「環境教育・環境学習の推進」のところに記載されている「施設見学会の実施等」に具体的に名称を入れて、そういったところを見学することを働きかけるような文章を入れてはどうか。</p>
石田委員	<p>少し補足すると、国分寺市は新型コロナウイルス感染症の市中感染が一旦落ち着いたときだったので見学ができたが、日野市と小金井市のときはタイミングが悪く市中感染が再拡大してしまったので申し込めなかったということである。</p>
林委員	<p>ただ、小金井市の場合は昨年の中間処理場の施設見学実績がほとんどない。見学にくるのは、そういった教育に熱心な教諭のいる学校、クラスだけで、必ずしも義務化されているわけではないということを痛感した。もっと何らかの広報の仕方なり学校への働きかけをきっちりやらなければならない。</p> <p>浅川への見学にしても同様のことが考えられる。市内ではなく、より遠くなる以上、中間処理場のように見学する人がいなくなるような気がするので、ぜひ考えてもらいたい。</p>
黒須委員	<p>P19で「コードレスで使用できる電気製品には、すべて充電式電池が使用されています」というのが追加されているが、こういったことは、ごみカレンダーに載せて市民にもっとわかるようにしたほうがよいのではないか。</p>
高田清掃係長	<p>そういった火災事故が多いので、今年度から市ホームページのトップページにも、分別のことで、今年4月から有害ごみとして排出できるようになったことを掲載している。それでも分別されていない現状があるので、より目立つように来年度以降のカレンダーにも記載していく。</p>
多田委員	<p>最後に、前回審議した生ごみ処理機補助制度の進捗状況を知りたい。</p>
府川減量推進係長	<p>前回いただいたご意見を踏まえて手続きを進めており、今後の予定としては、市報で告知していきたいと考えている。</p> <p>次回の審議会では報告をさせていただく予定である。</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	それでは、以上をもって審議会を終了する。
------	----------------------